

氏名	内野 かおり
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6299 号
学位授与の日付	2021年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Utility of gastric biopsy in diagnosing IgG4-related gastrointestinal disease (IgG4 関連消化管病変の診断における胃生検の有用性)
論文審査委員	教授 岡田裕之 教授 吉野 正 教授 柳井広之

学位論文内容の要旨

IgG4-related gastrointestinal disease (IgG4-GID)の特徴的病理所見として手術材料では bottom-heavy plasmacytosis (BHP) が報告されている。そこで胃生検で BHP が検出可能か、既知の IgG4 関連疾患患者 31 例の胃生検検体で検討した。また BHP の疾患特異性を検討するため、連続した胃生検検体 1696 例について前方視的に BHP の有無を検索した。IgG4 関連疾患患者 7 例に BHP を認め、そのうち 6 例が IgG4-high (免疫染色で IgG4 陽性形質細胞>10/HPF かつ IgG4/IgG 陽性形質細胞比>40%) に相当した。粘膜筋板内の形質細胞集簇、萎縮を欠く胃底腺間に形質細胞が浸透するように浸潤する像も IgG4-GID に特徴的と考えられた。連続した胃生検では 6 例 (0.35%) に BHP を認め、うち 1 例は IgG4 関連疾患患者であった。IgG4-GID は特徴的な組織所見から胃生検でも疑うことが可能で、既知の IgG4 関連疾患患者以外では全身検索が推奨される。

論文審査結果の要旨

IgG4 関連消化管疾患 (IgG4-GID) の特徴的病理所見として筆者らが考案している bottom-heavy plasmacytosis (BHP) が胃生検組織から検出可能かどうかを検証するために既知の IgG4 関連疾患患者の胃生検組織を用いて行った研究である。免疫組織学的に IgG4-GID における IgG4 陽性細胞の頻度や集簇部位を検討し、コントロールである *H.pylori* 感染性胃炎や胃 MALT リンパ腫とは異なったパターンを呈することを示し、BHP が IgG4-GID において胃生検組織から特異的所見として認められることを証明した。また、前向き検討でも胃生検で BHP を呈した症例の中に IgG4-GID が存在していたことも示した。

今回の研究により胃生検により IgG4-GID の診断に結びつくことが検証された。実臨床においても活用できることが期待され、今回の研究成果の意義は大きいと考える。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。